儚幻

北里六花

儚幻-mugen-

君に
君に目を奪われた
夏の終わり

『儚幻』

君が誰かは知っていた
もうこの世の人間ではないということも
それでも
それでも僕は君が好きだった

君は今日も待っている
決して帰らないあいつのことを

毎日毎日
僕には気付くこともなく
あいつだけを待ち続けていた

気付いてほしい
見てほしい
あいつじゃなくて僕のことを

『あいつはもう死んだんだ
待っていてももう帰ってこない
それに・・・
君だってもう死んでいる
君もあいつも死んだんだ』

翌日君は消えていた
ただ天へと消えたのか
あいつが迎えに来たのか

あいつはもう帰ってこない
君ももう帰ってこない

この空の下　立ち尽くすのは僕一人